

幾代会 観 察 会 (2023年5月) の ま と め



国土交通省
国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan
2023/5月 幾代会 観 察 会 ルート
青梅駅～梅岩寺～秋葉神社～青梅丘陵ハイキングコース～第二休憩所～第一休憩所～永山公園(昼)～青梅鉄道公園の前～永山公園通り～大塚山公園～東青梅駅



梅岩寺



青梅丘陵ハイキング道



北向地藏尊

- 日 時 : 5月7日(日)
- 集合場所: 青梅駅 改札を出た所
- 集合時間: 9時50分
- 観 察 場 所: 青梅丘陵ハイキングコース
- ポ イ ン ト: イチヤクソウとウメガサソウを求めて

●ルート：青梅駅～梅岩寺～秋葉神社～青梅丘陵ハイキングコース～第二休憩所～第一休憩所～永山公園～ネッツたまぐーセンター(研修室C)

●参加者：太田さん、羽深さん、梅田さん、須崎さん、土方さん、中部さん、石川さん、宇津木さん、越前の9名 下見4月21日 4名

◆5月の植物観察会のポイント 2点

●ネジキのねじれについて

ネジキの由来は幹が捻じれているからです。

樹皮のねじれは生える場所の傾斜や風などの気象状況によって様々であり、右回りにも左回りにもなりますが、一般に根元部分のねじれが強く、また、風の少ない平地に育つ個体には、ほとんどねじれのないものもあります。

また、ねじれのためネジキは材木に不適であり、薪割にも苦勞することから「姥の手焼き」などの地方名があります。

ただし、材は緻密で見た目も朱塗りのように美しいため、櫛、箸、傘の柄などの細工物に使われ、きめの細かなネジキの木炭は漆器を磨くのに適するとありました。

今回の観察会ではネジキの捻じれ具合を観察出来ればと思います。

●梅雨前後に白い花が多い理由

5月の観察会で一番目立った花はマルバウツギ、ツクバネウツギ、ハクウンボク、エゴノキそしてホオノキの何れも白い花でした。

既に咲き終わったヒメウツギやカマツカ、これから咲き出すドクダミやオカトラノオも白い花です。

観察会では緑をバックに白が目立つと説明しました。

花が白く見えるのは可視光スペクトルの全域でほぼ均一に光が乱反射されていることを示しており、その主な原因はクロフィル・カロテノイド・フラボノイド(アントシアニン)などの色素による光の吸収が少ないことにあります。

また昆虫とヒトでは感じる光の領域が異なります。

ヒトの視細胞による感知波長範囲はおおむね 400～700nm(ナノメートル)、昆虫では種類によって大きく違いますがおおむね 300～600nm の範囲、興味深いのは多くの昆

虫において紫外光(300~400nm)の領域に感度が高い種類の光を感じる細胞が備わっている点です。

ヒトと昆虫の視覚に共通する青~黄緑光(400~600nm)領域における吸収・反射の差だけからでも(ヒトの感覚で白色に見える花が)昆虫によっても緑の背景から識別されやすいのではないかと思います。

◆散策路の植物

ゴールデンウィーク、最終日の5月7日、晴れるかな~~予報通りお天気は午前のみでしたが溢れる緑の中で半日のミニ観察会を実施。

「あら~~~もうコアジサイが咲いている」

「緑の中の風が気持ちがいい」と嬉しいと歓声。

それにしても2週間前に行った下見の時と花の様子が随分と違います。



イチヤクソウ

チゴユリやキランソウ、フジの花はすっかり終わり、咲き始めていたツクバネウツギやヤマツツジは終盤です。

梅岩寺裏の秋葉山一帯の西国33所観世音菩薩霊場を見ながらゆっくりと青梅丘陵ハイキングコースに登るとマルバウツギの白い花が崖からたれさがってお出迎え。

イチヤクソウの群落を求め、第二休憩所から青梅の森方面に進み、ました。風の子太陽の子広場方面にはホオノキの白い花が上向きに開花。足元にはクサイチゴの食べごろの赤い実。

「去年はセリを摘んだのよね」えっこんな山道でと思ったらハイキング

コース下の風の子太陽の子広場でのことでした。

そうねえ食べ物の方はよく覚えられます。

目で見て手で摘み取り、帰って舌で味わうと五感をフル活用で、忘れませ〜ん。

お目当てのイチヤクソウが雑木の陰で花茎を伸ばし数個の蕾を付けていました。

常緑の葉は根際に集まってつき、長い柄があり、円形または広楕円形で長さ3〜6cm、巾2〜4cm、で細かい鋸歯があり、葉の間から20cmほどの花茎をたて、上部に2〜10個の白花を付けます。

雄蕊は10個で雌蕊は湾曲し、花期は6〜7月。

第一休憩所の崖側で今度はへばりついてウメガサソウ探しです。



テイカカズラの葉に似た草丈が10cmにも満たない小さなツツジ科の野草です。

「あった〜」と一株、見つけるとあちこちから「此処にも！」との歓声。

添付のウメガサソウの写真の手前の葉はチゴユリで稚児より更に小さいので見つけるのは正に宝さがしです。

下向きの花茎をチョット失礼と持ち上げてみると丸くて真っ白でのっぺらぼう

のような蕾でした。

分枝した枝の先端に5mmぐらいのそれぞれ1個ずつの蕾を付けていました。

ウグイスカグラの赤い実がたわわで食べごろ。

鳥に変わってチョットお味見。「小さいときはこんなもんしか無かったのよ」との声。

私はこんなもんも食べられなかったな〜です。

目的のイチヤクソウとウメガサソウが見られてホッ良かった。



ウメガサソウ



ウグイスカグラ



ネジキの観察



ハクウンボク

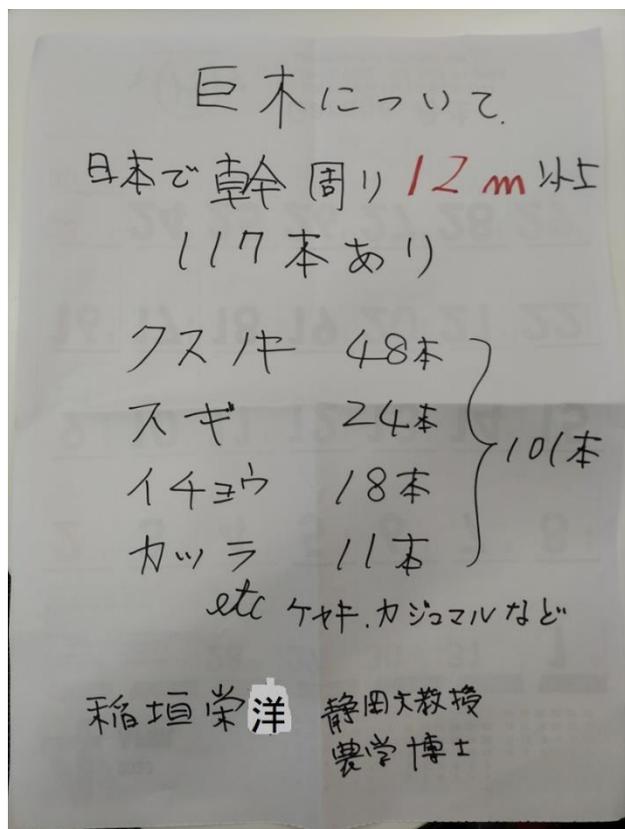
ネジキの幹が捻じれているかなと観察。

「表皮だけが捻じれているか、幹の内部も捻じれているか」との質問？

う〜ん、新たな疑問です。(2 ページのポイント参照)

永山公園では目の高さで真っ白なハクウンボクを観察。

アラアラ〜とうとう雨が降り出し、足早に午後の打ち合わせ会場のたまぐーセンターに向かいました。



綺麗な3階の研修室でSさんから巨木についての説明をしてもらい、ありがとうございました。

これからもイロイロな参加者からどんどんワンポイントをご披露して貰えると嬉しいです。

ちなみに青梅市で一番太い木を調べたら御岳の神代櫓で幹回りが850cmでした。

青梅市観光協会から借用出来たボイスワーカー(TOA 製 ER-1000)を試用しました。ヘッド部分がずり落ちないように上手に使いればと感じました。

雨が心配だった5月でしたがミニ観察会でリフレッシュ出来て良かったデス。

来月の観察会は北山ショウブ公園へ 久々のチョット遠出です。元気にお会いしましょう〜

2023. 5. 9 越前記